

四谷ひろば

避難所訓練

2つのNPO法人と協力・連携をして、
自主管理自主運営をおこなっています

「四谷ひろば」

【地域ひろば】

四谷ひろば
運営協議会

協力
・
連携

【CCAA アートプラザ】

NPO法人

市民の芸術活動推進委員会

【東京おもちゃ美術館】

特定非営利活動法人

芸術と遊び創造協会

『四谷ひろば避難所運営管理協議会』は

旧四谷第四小学校 避難所地域町会 四谷三丁目・四谷四丁目・荒木町・舟町・愛住町・片町の6町会で運営がなされています。

『四谷ひろば三団体自衛消防隊』と地域との連携

四谷ひろばでは、地域ひろば・東京おもちゃ美術館・CCAAアートプラザ三団体で、自衛消防隊を結成しています。毎年、6月第四金曜日、12月第一月曜日に避難訓練を実施しています。

この訓練では、おもちゃ美術館の職員が中心となり、災害発生時に、館内のご利用者の避難誘導・消火活動・けが人対応などを中心として行っています。

各団体ごとに、甲種防火管理者・防災管理者の資格を得ての消防計画も提出しています。コロナ禍での避難訓練に関しての見直しや、それぞれの役割分担も見直し、今年度の地域の避難訓練については、三団体と地域との連携を考えたものを検討中です。

四谷ひろば三団体自衛消防隊

おもちゃ美術館の事務局長が、中核となり、毎年、六月・十二月に、三団体で消防訓練を行っています。



四谷ひろば三団体自衛消防隊

地震の時は、まずは、自分の身の安全確保を!

落ち着き次第、職員が館内の見回りや状況把握

館内放送での指示が入り、利用者を誘導

速やかにグラウンドへ移動

リーダーに、各担当者から、状況報告

その後、反省会・意見交換会

四谷ひろば三団体自衛消防隊

地域との連携を図る取組みとして

グラウンドに避難したあと

地域の方々の受入れも行う。

震度5弱で、避難所運営協議会が発足する。
協議会に繋がっていきたいと、協議中。

※食事は出さず、
部屋への移動はいたしません。

【課題】 トイレ・コロナ・けが人・雨天時

四谷ひろば三団体自衛消防隊

【課題】 トイレ ※施設内は、入らない
余震で倒壊の恐れもあるため

元プールのトイレの個室を利用し、仮設トイレを準備する。事前に、すぐに用意できるように、準備してある。



仮設トイレ

- 男性 テントを常設で準備した。災害時に、横幕を張る
- ・ ポリタンク付きの簡易トイレ
 - ・ 溜め置きのできるポータブルトイレ を設置



- 女性 元プール内のトイレ
但し、和式便座がある為
隣の納戸スペースを利用。
設置して、カバーを
はずすだけにしたい



溜めて、
排水に活用
できる



四谷ひろば三団体自衛消防隊

【課題】 コロナ



元プール倉庫にパイプ椅子を準備してある。

体調の悪い方のエリアを用意

地域の受付に繋がるように
感染症
濃厚接触者 を誘導

四谷ひろば三団体自衛消防隊

【課題】雨天時

「屋根になるようなもの」を作る。

- ・ 倉庫に、屋根になるようなブルーシートやキャンプ用のシートを元プール倉庫に、用意している。
- ・ テントを張る。

講堂の安全確認後

- ・ 横側面の扉を全開にし、いつでも飛び出せるようにして、誘導を検討する。

災害発生

開館日(木曜日・年末年始除く)

四谷ひろば三団体自衛消防隊

- ・年に二度(6月・12月避難訓練)
- ・基本、利用者並びに職員対象に消火活動や避難誘導・応急救護

・グラウンドで待機

順次、利用者を帰宅困難者施設へ案内、職員の帰宅体制
・必要に応じて、利用者・職員の団体ごとに室内誘導も可能性としてある。

・地域の方が、避難してきた場合避難所運営協議会が立ち上がるまで、受入れを行う。
食事は出さない。

<課題>

トイレ・コロナ・けが人
雨天時(室内チェック要)

休館日(木曜日・年末年始)

開館日(夜9時以降～朝8時30分)

カギ管理:愛住町 町会長
四谷四丁目 田谷

・門の鍵開け(正門・グラウンド門) ⇒ グラウンドへ集まる。室内には入らない。

<電気>

- ・各所設置のソーラー付き電灯 ⇒ センサー式を常時点灯に切り替える
- ・ランタン
- ・ヘルメット付きのライト
- ・備蓄倉庫内の電灯
- ・B館 10か所の常時充電式懐中電灯

<課題>

・トイレ・コロナ・けが人 ・雨天時(室内チェック要)

四谷ひろば避難所運営協議会
が活動する。

室内チェックについて

<雨天時・夜間>

- ・講堂の安全確認
横側面のトビウをあけて、飛び出せるようにする。
※二次災害対策。建物崩壊
- ・又は、テントの組み立て

※各室へ誘導するのは、
受付をした人を対象とする。
そのため、地域の方が対応
但し、避難者の人数による。

コロナ感染拡大防止対策

<区分>

- ・プール倉庫に、椅子を準備
以下の分類ごとに、椅子を置いて、区分けする。

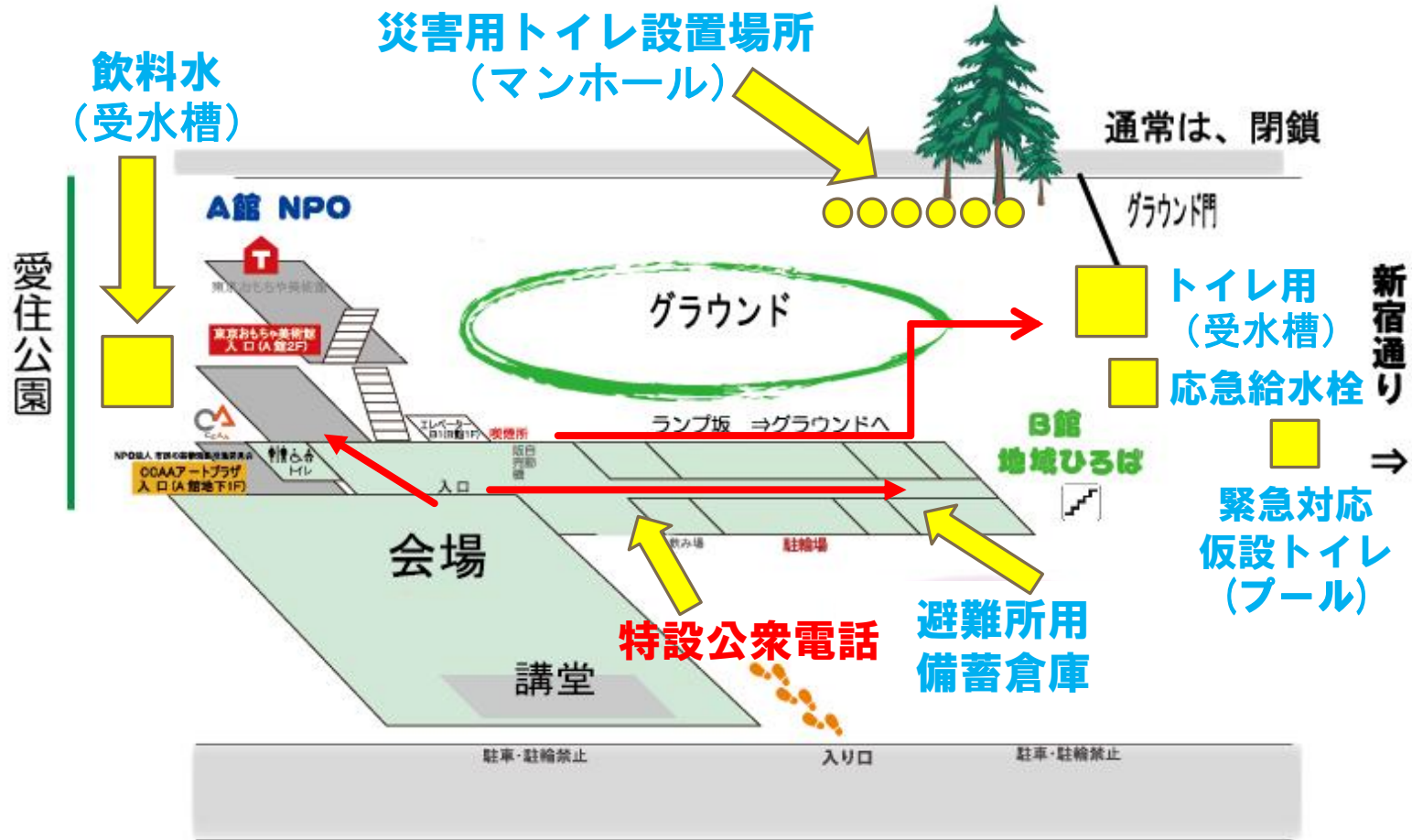
グラウンド内で
健康な人
体調の悪い人・濃厚接触者
明らかにコロナの人
を分類する。
ほか、高齢者用にも検討

グラウンド 仮設トイレ

<一時避難時用に開設>

- ・プール内に設置
災害用トイレ 備蓄品
- ① トイレ 2種
- ② 流す用の水(古いペットボトル)
- ③ 便座拭き用の除菌シート
- ④ 汚物用の替え袋
- ⑤ トイレ用ペーパー
- ⑥ ゴミ箱とゴミ袋
- ⑦ 災害トイレ 外用の貼り紙
- ⑧ ホウキとチリトリ
- ⑨ ソーラー電気/ランタン

平面 配置図



避難所用 備蓄倉庫

●どこになにがあるのか天井に表示!!

●段ボールの中を写真で表示!!



避難所用 備蓄倉庫

大きな段ボールの中も写真で表示!!



イーストアイと
専用テント 4組
マンホールに直結



ベンチャー 3台
マンホールに直結のほか、
溜め置きもできる

簡易トイレ サニター
24台 溜め置き型
スぺア20枚



簡易テント 5張
ほか、
「個室トイレ」を
確保するため、
旧トイレの
和式の便座の上に
置いて利用するこ
とを考えている。

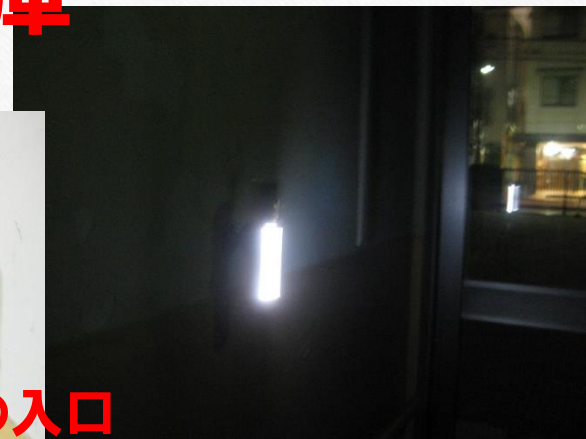
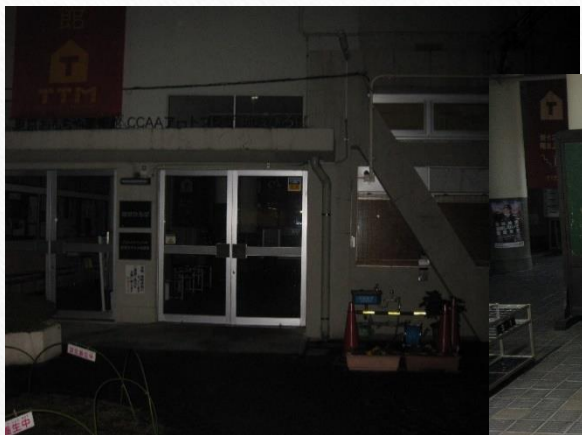


避難所用 備蓄倉庫

卓球台の板を再利用して、
町会ごとに貼り紙ができるように検討中



夜の正面玄関と備蓄倉庫

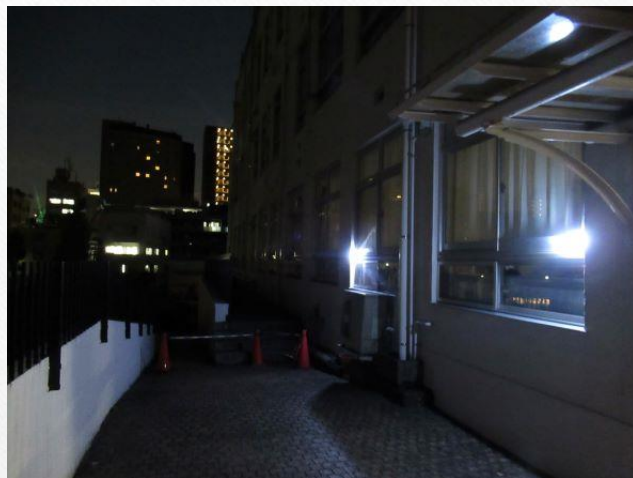


夜の入口
中に入ると感知式のLED懐中電灯
持ち運びができる優れたもの

廊下の奥 元給食室
ここにも、感知式のLED懐中電
灯!!



感知式 ソーラー簡易電気



グラウンド側
ランプ坂の上～下に 三か所

グラウンド側
元プールの仮設トイレに 三か所

正門側
自転車置き場と、備蓄倉庫入口

講堂屋上からの避難経路 5か所



普段から使えるように、
「常設」の電気点灯を増やしています。

飲料水

避難所生活での 飲み水を確保



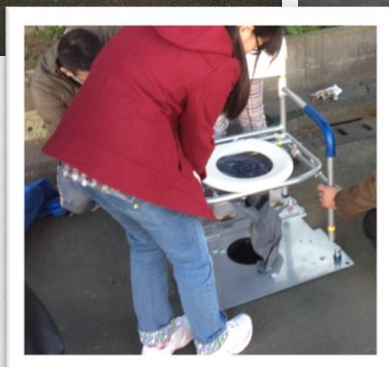
A館裏に 受水槽



トイレ

災害用トイレ グラウンドに設置

グラウンド門入口に、下水道直結の排水溝が用意されています。マンホールのふたを開けて、設置します。



災害用の貯水タンクが近くにあります。
そこに蛇口をつけて、排水用にご利用
することになっています。

応急給水栓の設置



グラウンド門入口近くに、
応急給水栓が設置され、
災害時に飲料用の給水ができる
ようになりました。

たくさんの方が並ぶことが想
定されます。

災害発生



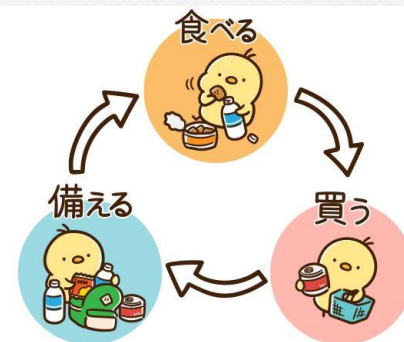
大規模火災等は、広域避難場所へ
・新宿御苑・神宮外苑等 ※宿泊は出来ません。

※基本、危険がなければ、自宅・会社待機です。

このコロナ禍で、集団生活はとても想像もできないくらい大変です。災害後も自宅で過ごせるように、耐震構造の確認や、ものの配置、固定、備蓄など、普段から見直しをしておくことをおすすめします。避難所には一時的に過ごせる物品しかありません。各自で、家族構成に応じて、食料・水などのほかに、「薬・オムツ・生理用品等」の備蓄をしておきましょう!!

備蓄は、賞味期限などがありますので、普段から循環型備蓄で、いつの間にか食べられなくなっていることにならないようにご注意ください。

※特に、ご病気の方の薬の予備・介護や育児で必要なオムツ・ペットのゲージやエサの備蓄等も大切です。都会には大勢の方が暮らし、建物の崩壊も多く想定されることから、復旧には、かなりの日数がかかるでしょう。平穏なうちに最悪の事態を想定して準備をしておきましょう。



「日々、進化する災害掲示板」

災害時、避難所をスムーズに立ち上げる取組み

備蓄倉庫横の廊下に設置



四谷ひろばの避難所の取組みを周知し、最初の立ち上げに必要なことをいろいろな人に確認していただけるようにできればと検討しています。

お手元に資料をお配りしています

一問一答形式の、避難所についてまとめたもの

四谷ひろば三団体自衛消防隊との連携図

本日のパワーポイントのデータ

参考までに、ご一読いただければ幸いです！

12月1日、四谷ひろば避難所HPリニューアル

おい
